## O Tokushima ROFUKUKYO

2015.11 No.76

徳島県委託「定住外国人の就労・社会参加支援事業」

# 阿南市と美馬市で就労支援講座新規開講



徳島県労働者福祉協議会では今年度、徳島県 より委託を受け、地方創生先行型事業として 「定住外国人の就労・社会参加支援事業」を実 施しています。県の委託事業となって2年目の 今年度は、徳島講座に加え新たに県南部と県西 部でも就労支援日本語講座を開設しました。

南部講座は、9月7日に社会福祉法人阿南福 祉会が運営する「特別養護老人ホーム阿南荘」

において開講し、フィリピン、中国、韓国の12名が、また、西部講座は、9月15日に医療法人桜樹 会が運営する「介護老人保健施設ケアハイツさくらぎ」において開講し、中国、フィリピンの9名 が、職場で通用する中級レベルの日本語とビジネスマナーの習得に挑んでいます。

国や県が力を入れている観光サービス業や、高齢社会の進展や景気回復による他事業への人材 流出に伴い人手不足に歯止めがかからない介護サービス業に就職を希望する人が多く、まだまだ 発掘・活用されていない定住外国人の登用が期待されるところです。

前年度、すでに11人が就職を果たした徳島講座同様、両講座からも希望する職種に就労する人 が輩出されるよう、講師陣をはじめ、会場提供や広報に尽力くださった法人や地元自治体、地域 住民の方々と手をとりあって支援に取り組むとともに、引き続き、行政機関、就労支援機関、相

談機関、経済団体、福祉事業団体、日本語教育団 体等から構成される連絡協議会において事業の効 果検証と改善見直しをはかりながら、よりよい支 援体制を構築し、定住外国人が徳島の一員として 自覚と誇りを持つて地方創生の一翼を担う人材と して活躍する地域社会のあり方を、徳島から全国 に向けて発信していきたいと願っています。



公益社団法人

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1 わーくびあ徳島 TEL 088-625-8387 FAX 088-625-5113 德島県労働者福祉協議会 E-mail tokushima@rofuku.net URL http://tokushima-rofuku.net/

#### 労 協 福

## 平成27年度

## 若者の自立をサポートする保護者セミナー開催



9月19日(土)、とくし ま・あわ地域若者サ ポートステーションの取 り組みの一つとして、 ヒューマンわーくぴあ 徳島にて、保護者セミ ナーを開催しました。

講師には、認知行動 療法を専門とされる徳 島大学大学院ソシオ・

アーツ・アンド・サイエンス研究部准教授の境泉 洋先生をお招きしました。

一人の若者が社会的に自立するまでには、様々 なサポートが必要ですが、今回は若者を一番身近 で支えていらっしゃるご家族を対象に、家族だか らこそできるサポートや自立を促す保護者の在り 方などを学びました。

今、働いていない若者の多くは、挫折体験を抱え ています。とても傷つきやすく否定的な言葉に敏感

です。子どもを責めるあまり、親子の会話がなくな ってしまった、親ばかり焦ってしまい子どもを追い 込む等、悪循環に陥りやすいものです。問題行動 ではなく、子どもの「望ましい行動」に目を向けてい くことが重要だと境先生はおっしゃいます。なぜ、 その「望ましい行動」を行ったのか、そのことに注目 し「望ましい行動 |を褒め「望ましい行動 |を増やし ていくこと。そして、「望ましい行動」を褒めること で、若者の自己肯定感は上がり、そのことが社会 へ向かっていく勇気につながります。

自立には長い時間がかかります。親自身が人生 を生き生きと謳歌してよいのです。そのことで、親 自身に余裕が生まれ子どもの自立を見守ることが できると境先生はおっしゃます。

ロールプレイなども交え、和気あいあいとした ムードの中、参加された20名の方々も自身の子ども への接し方を振り返るよい機会となったのではな いでしょうか。



2011年8月 8日庫倫旗第 一中学と労福 協は、招聘に 関する覚書を 交換し、高校

生2名と引率教師1名をこれまで招待してき た。今年度も高校生を選抜するため、関西 空港を7月20日(月)に出発し、日中友好の 架け橋として庫倫旗第一中学を訪問し、21 日(火)第5回日本語弁論選考会を校長先 生をはじめ9名の審査員で実施した。今回 は、日中友好協会生田会長と労福協林専務 が訪問した。選考会には玉栄さんをはじめ 6名の生徒が日本語によるスピーチを行な

中学」を訪問して

(2015年7月2日~

い、6名とも大変すばらしいスピーチであり、 甲乙つけがたい結果であったが、最優秀賞に は特日格勒(てりごろ)君、優秀賞には英俊 (いんじゅん) 君が選ばれた。日本への招待 についてはこの2名の生徒が決まり、引率教 師として包蘭先生が来日された。10月24日 (土)から29日(木)まで滞在され、北井上中学 校の生徒をはじめ数多くの方々と交流をされ、 29日帰国の途につかれた。



## 連合

# 第26期部落解放·人権講座

8月21日から9月18日の間、第26期部落解放・人 権講座が開かれ、連合徳島構成組織・地協や行政、 経営者団体など23団体・28人の受講者が参加した。



部落解放・人権 講座は、徳島にお ける部落解放運動 の歴史と現状、子 どもの人権とおと なのワークショッ

プ、女性差別撤廃条約批准30年、パートナーシップと女性の人権、部落差別の実態と糾弾闘争の理論、差別をなくす社会システムの創造、徳島市国府町芝原でのフィールドワークなど、計7講座が行われ各講座とも、様々な角度から差別や人権の問題や課題、そして歴史などをあらゆる分野の講師陣を招き学習を行った。

修了式は9月18日に行われ、人権講座実行委員会の森本実行委員長が「21世紀は"人権の世紀"と呼ばれていますが、インターネットや携帯の普及であらゆる場面で情報化が進展しています。その電子空間上に、人間の尊厳を侵す極めて悪質な反社会

行為が横行・氾濫しています。その内容が年々巧妙かつ悪質化し、見えにくくなっています。そして、今なお結婚差別や差別落書きなど後を絶たない深刻な事態も生じています。私たち一人ひとりが部落差別をはじめあらゆる差別の解消に向け学習してきました。本講座で学習した内容を職場・地域で活かし、あらゆる差別の完全撤廃と人権政策確立のために共に頑張って行きましょう」と総括あいさつを行った。

なお、修了証書は本講座7講座のうち、5講座以 上受講された方に交付された。また、修了式に参加 した受講生一人ひとりから本講座を受講しての感想 や意見を述べてもらった。受講生からは「部落差別 の実態が自分の思っていたのとは違った」「若年者 にも参加して貰えるカリキュラムの充実を」「初めて

知ったことが多くと ても勉強になった」 「職場・地域で差別について考えていきたい」など意見や要望が出された。



月日		内容	講師
		開講式	森本佳広実行委員長 (地方共闘会議議長)
8月21日 (金)	第1講	徳島における部落解放運動の 歴史と現状	橋本弘房 部落解放同盟県連 執行委員長
	第2講	CAPおとなのワークショップ (おとなができること)	阿部和代 CAPとくしま代表
9月4日	第3講	女性差別撤廃条約批准30年	山崎鈴子 部落解放同盟中央本部 女性部長
(金)	第4講	パートナーシップと女性の人権 (女性相談の現場から見えてくるもの)	河野和代 ウィメンズカウンセリング徳島 代表
9月11日	第5講	部落差別の実態と糾弾闘争の理論	歯朶山加代 部落解放同盟県連 書記長
(金)	第6講	差別をなくす社会システムを 創造するために	北口末広 近畿大学人権問題研究所 教授
9月18日 (金)	第7講	フィールドワーク	辻本一英 芝原生活文化研究所 代表
		総括討議·閉講式	森本佳広実行委員長 (地方共闘会議議長)

## ろうきん

#### ~四国労働金庫社会貢献活動『助成金制度』~

# 2015年度 「助成先への目録贈呈式」 開催報告

四国労働金庫(高松市:理事長 小川 俊)は、 社会貢献活動の一環として2002年度より四国労 働金庫社会貢献活動「助成金制度」を制定し、四 国内で活動しているボランティア団体・NPO法人 等を対象に助成金を贈り、地域の福祉活動を支援 しています。

2015年度事業の助成金募集(募集期間:2015 年6月1日~2015年7月31日)の結果、24団体より



4.017.160円の助 成金申請があり、 この度、当金庫 の資金助成選考 委員会(学識者 2名、会員代表4

名、金庫役員3名の計9名で構成)で選定審査を 行い、21団体の活動に、3,514,000円の助成を行う ことを決定いたしました。



徳島地区は下記の4団体に助成が決定し、10月6 日に徳島営業本部において助成金目録贈呈式が 行われました。

## 福祉活動の団体を応援しています!

# 四国ろうきんの 社会貢献活動

#### ■助成金以外のサポート制度

- ・ 手数料の免除
- ・NPO 事業サポートローン
- ・ろうきん施設の利用

【お問い合せ先】 四国労働金庫 経営統括部 TEL 087-811-8004 E-mail アドレス: manage@shikoku-rokin.or.jp または最寄りの営業店に お問い合わせください。

#### ◆2015 年度「助成先団体」一覧表

<徳島県関係分> 徳島県関係の助成先は、下記の4団体で助成金総額734,000円となります。

助成先団体名	団体所在地	助成対象活動
徳島県難聴者と支援者の会	小松島市	高齢者や難聴者の社会参加の支援
ハッピースプロジェクト	徳島市	訪問に活かす!病気や障害を学ぶ講座
友遊くらぶ	阿南市	障害者のときめき♥恋パーティー
特定非営利活動法人 吉野川に生きる会	吉野川市	第6回菜の花フェスタ(食と健康)

#### 労 済

# スマイルイベン **2015 in** ラアミサポフェスティバル

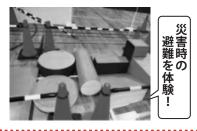
2015年12月5日(土)10:30~14:30、アスティとくしまの1F 多目的ホールにて開催される「あい♡あいファミサポフェス ティバル | の一環として 「全労済徳島スマイルイベント2015 | を開催いたします。

当日は、防災グッズの展示や非常食の試食、避難シミュ レーションゲームやAEDを使用した心肺蘇生法等の防災に 備えるための多彩な企画を用意していますので、多くの皆さ まのご来場をお待ちしています。

## 

- 避難シミュレーションゲーム
- AED救命実演 身近なものを使った応急手当 日本赤十字社徳島県支部
- 防災グッズ・防災パネルの展示 非常食の試食
- 紙ぶるる制作

#### ●避難シミュレーションゲーム



#### ●防災グッズの展示・非常食の試食



#### 日本赤十字徳島県支部

- ●AED を使った心肺蘇生
- ●身近なものを使った応急手当



## 2016年 2月実施

# 制度改定

全労済のマイカー共済は、2016年2月1日以降を共済期間の開始日とするご契約より、 わかりやすさの追求や収支バランスの改善等を目的として、制度改定を実施します。

【新規】2016年1月1日以降、効力開始 (サービス開始) となる契約 【継続】2016年1月1日以降に満期を迎え、継続となる契約

## 制度改定のポイント

#### 1 共済掛金の改定

これまでの共済金の支払状況を踏まえて、 基本保障・車両損害補償・その他特約の 掛金の見直しを行います。

※個々の契約条件によって、共済掛金が引き上げ になる場合や引き下げになる場合があります。

#### 2 新たな等級制度の導入

7等級以上の契約について、等級制度を 「事故なし」と「事故あり」に区分し、同じ 等級での異なる割引率を使用することと します。

#### 3 運転者年齢条件区分の見直しと 主たる被共済者年齢区分の導入

「運転者年齢条件」のうち、「30歳以上 補償」の区分を廃止します。

また、「26歳以上補償」・「35歳以上補 償」の特約を対象に「主たる被共済者年 齢区分」を導入します。

#### 新設の特約

「運転者本人·配偶者限定特約」 を新設します。

割引率 ☆ 「運転者家族限定特約」よりも 運転者の範囲を狭めることで、 **7**% 割引率が一層拡大します.

契約者の 反映した

特約の一部の ご紹介

#### 特約範囲の拡大 **ECO**

新たに「燃料電池自動車」が ハイブリッド車割引の適用となり、 特約の適用範囲が拡大しました。

☆全労済のハイブリッド車割引は、割引期 割引率 間の制限がありません。ハイブリッド車 にお乗りの方は、ご相談ください。

今後も健全性・安全性のあるマイカー共済の制度を提供し続け、組合員満足度の高い「マイカー共済」を 目指して参りますので、組合員の皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。





全労済徳島県本部 (徳島県共済生活協同組合)

## 勤労者福祉ネットワーク

#### ◆メンタルヘルス対策セミナーを開催!

メンタル面の不調を訴え離職する従業員が増加している現状と、メンタルヘルス対策の充実が従業員の職場定着率の向上につながるとの観点で、定期的にメンタルヘルスセミナーを開催しています。7月23日のセミナーでは、睡眠の基礎知識や睡眠関連障害について、TAOKAメンタルクリニック院長、洲崎日出ー先生よりご講演いただいき、メンタルヘルスに関連した課題、解決策について学びました。



7月23日(木)阿南ひまわり会館

#### ◆人材育成セミナー2015開催!

8月20日、27日、鳴門と美馬で恒例の「人材育成セミナー」を開催しました。労働人口の減少や雇用形態の多様化の中、人材を「人財」として事業所で育てていくためのノウハウを、徳島文理大学総合政策学部学部長の中村昌弘先生より、わかりやすい言葉でお話ししていただきました。その中でも「仕事は厳しく、職場は楽しく」「礼儀正しく図々しく生きよ」など、印象的でモチベーションが高まる示唆に富む言葉の数々は、参加者の心に残りました。



8月27日(木)徳島県西部総合県民局美馬庁舎新館

#### ◆ 「子育て支援員研修説明会」を開催!

本年4月より「子ども・子育て支援新制度」がスタートし、地域の子育て支援の担い手となる人材がますます求められています。 そこで、子育て支援の仕事に関心を持ち、保育や子育て分野の各事業等に従事することを希望する方、また従事している方を対象として、「子育て支援員」を養成する研修を、当財団が徳島県より委託を受け実施します。

「研修」実施に先立ち、9月18日(金)、ろうきんホールにて、「子育て支援員研修説明会」を開催したところ、約200名という予想を上回る参加者となり「子育て支援分野」への関心の高さが伺えました。



9月18日 (金) 徳島県立中央テクノスクール (ろうきんホール)

#### ◆コミュニティビジネスセミナー2015実施!

9月10日から毎週木曜日、4回シリーズで「コミュニティビジネスセミナー2015 思いに花を咲かせよう!」を実施しました。コミュニティビジネス、ソーシャルビジネスは、地域における新たな創業や雇用の創出、働きがい、生きがいを生み出し、地域の活性化に繋がる考え方として、徳島では上勝の「いろどり」や神山の「グリーンバレー」がその先駆として有名です。今回は、コミュニティビジネスの基礎~先進事例の講演、社会貢献型ビジネスの作業体験、最新のITを使ったビジネスや広報宣伝の方法、公的金融機関や助成金の具体事例など、実際に起業を考えているという参加者も交え、ワークショップ形式で、同じ志を有する仲間を作りながらのセミナーといたしました。最終日には、「次回は参加者の中から、成功事例として講師として参加できる」ことを期待しながら、参加者全員があたたかい絆を確認できたセミナーとなりました。



9月17日(木)太陽と緑の会 国府作業所



10月1日(木) ふれあい健康館

### 地域ライフサポートセンターの活動

#### 徳島中央ライフサポートセンター

#### ~人権問題講演会~

「メディア・リテラシーと人権」



2015年9月11日 (金) 18時から、 徳島グランヴィリ オホテルにおいて 人権問題講演会

「メディア・リテラシーと人権」(講師:北口 末広氏 (近畿大学人権問題研究所教授))を開催した。 講演会には、約70名の参加者があり、菖蒲さんの 司会で、先ず、徳島中央ライフサポートセンター宮 本会長の主催者あいさつで始まった。

#### 【講演概要】

「〝ミクロノ捜査〟1年半」という新聞記事が配られ、「ロリコン趣味の45歳」の小見出しに、「記事のどこからそういうことが読み取れますか」等矢継ぎ早な質問から講演が始まった。

先ず、今日のマスメディアを取り巻く状況として、 情報操作を受けやすい体質・システムがあり、不当 な一般化が横行しているのではないか。

次に、「足利事件」の新聞記事から、1991年12月2日の報道とその後の報道、また、犯罪報道の犯罪性をエルンスト・ブロッホの言葉から「政治とメディアが連携すればどんな文化国もたちまち戦争の国になる。たちまち差別の国になる」と報道の危険性を示唆した。

更に、「郵便不正事件(偽証明書発行事件)」では、メディアにリーク情報の価値を信じ垂れ流す体質や、癒着と情報操作を受けやすい体質がある。

一方、「冤罪発生メカニズムの究明」を行い、捜査当局にも冤罪を生ませないシステム作りが必要。 その為には、無罪可能性の証拠収集の義務化、取り調べの可視化をすべきであり、捜査員の証拠なき確信・謝罪追求型の取り調べや、人質司法、虚偽自白と証拠捏造に決別させなければならない。

また、報道により人為的に作られた世論も自白維持の心理を萎えさせる。一人でも信じてくれる人

がいれば自信が持て、「嘘の自白」強要に耐えられる。

更に、冤罪を生み出した背景・原因を明確にする ためにも、冤罪の原因を検証する公的機関の設置 が必要。

現実を正確にとらえる為にも「メディア・リテラシー」が重要であり、ニュースは現実を伝えるものであるか。取材先が何処か、コメントのどの部分をどう使うかで「現実」を変えることは簡単にできる。パラグラフの順番を変えるだけでも記事のトーンを変えることもできる。同じ「現実」を伝えても媒体によって報道の内容や論調がまるで違う。視点を変えれば「現実」も異なって見える。

ニュースも、その媒体が持つ特性、メディア企業のイデオロギー、地域性、読者層、商業的な判断、記者の興味、国情など、様々な要素によって形作られているもので、決して一つの「真実」が存在するわけではない。

メディアが送り出す情報は、現実そのものではな く、送り手の観点から捉えられたものの見方の一 つにすぎない。事実を切り取るためには常に主観 が必要である。メディアが伝える情報は、取捨選択 の連続によって、現実を再構成した恣意的なもの であり、特別な意図がなくても、製作者の考えや価 値判断が入り込まざるを得ない。

結びとして、メディア・リテラシーを磨き現実を批判的に読み取り差別や冤罪を生むことのない、賢い世界を創造していきましょう。

また、質疑では、マスメディアの誤りを正す方法として、お客様センターに電話するBPO(放送倫理・番組向上機構)の活用も一つの方法とアドバイスを頂き終了しました。

#### 徳島西部ライフサポートセンター

徳島西部ライフサポートセンターでは、生活 相談活動を行っています。

#### ~一般相談~

様々なお仕事の悩み、賃金等の労働条件・解雇・セクハラ・パワハラ等のお仕事に関するご相談、介護、子育て、税金など日々の生活での心配事のご相談、どこに相談すれば分からない

時、徳島西部ライフサポートセンターへご相談 ください。

利用できる制度やサービスを提供できる機関を、協力団体とのネットワークを使ってご案内します。専門的なアドバイスを受けるお手伝いをさせていただきます。

#### 【2015年4月~9月までの相談報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
生活相談	1	4	2	0	2	2	11
保険・金融相談	0	0	2	0	0	0	2
労働相談	1	1	0	0	0	0	2
子育て・家庭相談	0	0	1	0	1	3	5
就職相談	1	0	1	0	0	0	2
介護相談	0	1	0	1	0	0	2
その他	0	0	1	1	0	2	4
合 計	3	6	7	2	3	7	28

#### ~定例相談~

毎月決まった曜日に相談を行っています。 全て事前に予約が必要となっています。

法律相談	要予約。 毎月第 1 火曜日。 午後3時~5時まで、個別相談を受け付けています。 相談は無料ですが、事前に予約が必要となります。
保険・ 金融相談	毎月第 2 木曜日 午前 10 時〜午後 5 時まで 保険・金融相談に関するご質問にお答えします。
ニート支援相談	毎週月曜日 午前 10 時~午後 4 時まであわ地域若者サポートステーション池田サテライトを開所しています。 15歳~概ね39歳の仕事や社会参加に不安を抱えている方を対象に、相談を行っています。保護者の方からの相談もお受けします。

#### 徳島南部ライフサポートセンター

#### 2015ろうきん祭り

#### 第9回ソフトバレーボール大会開催

去る9月26日(土)12時から、阿南市スポーツ総合センターにて「2015ろうきん祭り・第9回ソフトバレーボール大会」(主催:四国労働金庫阿南支店協賛:全労済徳島県本部、徳島南部ライフサポートセンター)が開催されました。

この日の栄冠を勝ち取る為に練習を重ね、16 チーム、総勢127名という大軍団が参加するにぎや かな大会となりました。 応援団も手に汗握り大きな声援を送るなか、激 しく競り合う熱戦の末に、今年も無敵「まっちゃん」チームの連勝という結果になりました。

優勝:まっちゃん(阿南市職) 準優勝:さよちゃん(阿南市職)

3 位:ワイワイ(富岡王子紙業労組)

4 位:フェアリー☆ (阿南市職)





競技の終了後、興奮冷めやらぬ午後3時、お待ちかねの大抽選会が始まりました。

推進委員長賞、徳島南部ライフサポートセンター 賞、全労済賞、労金支店長賞他ハズレくじなし!大 いに盛り上がり、疲れも吹っ飛ぶ大抽選会となりま した。

#### 【2015年度上半期の相談件数等集計表】

4月1日~9月30日

生活困窮者自立支援法施行に基づく業務を、労福協が阿南市から受託、今年4月1日南部ライサポの隣室に「あなんパーソナル・サポート・センター」 (A.P.S.C) を設置してスタートしました。ここでは複雑で多様な要因により困窮している方々に寄り添いながら、時間をかけ、段階を踏んで、自立に向けた支援を行っております。当然ライサポの「なんでも相談」とかぶるところがあり、A.P.S.Cが優先して相談者を受け入れることから、当ライサポの受ける相談件数は極端に減少しております。なお両事務所間では常に相談者本位の連携協力体制を取りながら相談業務を進めております。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
暮らし・生活	1	2	3	3	3	1	13
法律	0	0	0	0	0	1	1
保険・金融相談	0	0	0	0	0	1	1
労働相談	1	0	4	2	2	0	9
合 計	2	2	7	5	5	3	24

### かーくぴあ徳島

#### 第4回公開講座



一般社団法人徳 島県労働福祉会館 が運営する、とく しま社会運動資料 センターの第4回 公開講座が、10月

3日(土) ヒューマンわーくぴあ徳島5 F大ホールにて開催されました。今回は『輝いた阿波の女性たち』と題した連続講座の3回目。講師は元参議院議員でAWA女性研究所代表の乾晴美氏が務め、約2時間の講義に75名の方が参加しました。また聴覚障害者のための要約筆記を行うNPO法人「文字情報支援ひこばえ」から3名の方が来られ、本講座の音声内容をノートパソコンに文字情報としての記録入力を行いました。

冒頭、労働福祉会館の藤原理事長より「今、朝のNHK連続テレビ小説で、日本最初の女子大学を設立した実在人物・広岡浅子さんをモデルとした『あさが来た』が放映されています。ドラマは封建制が色濃く残った幕末期から描かれております。広岡浅子は、明治期にかけて実業家として活躍すると同時に、女子教育の発展に奔走した人物であります。また先に放映された『花子とアン』では村岡花子さんの半生が描かれ、その中には女性の参政権を訴えた市川房枝さんも登場します。女性運動家を取り上げた今回の講座は、このような時期に相応しいものであると考えます。」と挨拶がありました。

今回の講座は、現在活躍中の女性運動家 9 名をゲストに迎え、乾講師がコーディネーター 役となり、一人一人に生い立ち秘話から人生 の転換期、そして女性運動・市民運動にかける 思いを語って頂きました。乾講師を含めて10 名の皆さん総じて、両親や家族の理解と協力 があった点、ご自身の経験則も踏まえて学校 教育や社会教育の大切さを説かれていた点が 共通していました。

最後に、久積センター長より、「資料センターにて今回の連続3回の講座内容を取りまとめ、次の世代へと繋ぐ本を作ること、また、次回講座では徳島が発端となった森永ヒ素ミルク事件を取り上げること、そして徳島県内の労働運動、社会運動の貴重な資料を収集して次の世代へ遺すこと、これらが資料センターの使命であるこ

とを皆さんにお 伝えしたいと思 います。」と締め くくりの挨拶が ありました。



#### 出演者プロフィール

原 孝枝 白うめ幼稚園理事長/徳島県女性協議会元会長 磯田 正江 徳島県退職女性教職員協議会前会長/徳島県女性協議会元会長

竹内 菊世 徳島ペンクラブ会長

河野南代子 女性と子どもの人権を守る 「エンゼルランプ」 副代表

野尻 許子 日本網膜色素変性症協会徳島支部長 歯朶山加代 部落解放同盟徳島県連合会書記長 高開千代子 アイ女性会議徳島県本部事務局長 東條 恭子 ストップDV・サポートの会代表 高井 美穂 元衆議院議員/徳島県議会議員 乾 晴美 元参議院議員/AWA女性研究所代表

## 特別企画『賀川豊彦と吉野作造』パネル展



9月28日(月)から10月9日(金)までの間、ヒューマンわーくびあ徳島 5F大ホールにて特別企画『賀川豊彦と吉野作造』を行いました。労働福 祉会館の関係団体をはじめ、任意団体やNPO法人の代表の方など、一般 来館者を含めて延べ95名の方が訪れました。

今回展示した写真パネルは、賀川豊彦記念松沢資料館より提供して頂きました。その元出典は賀川豊彦記念松沢資料館のほか、学校法人東北学院、吉野作造記念館、公益財団法人東京大学YMCA寮、社会福祉法人賛育会、日本基督教団陸前古川教会となっています。



基本實際於付金付水回日海、白田公司工商、日人新規會刊日本



掛金がお手頃な 「マンション専用プラン」を新設しました!



地震保障をさらに充実。 大規模半壊時の保障を手厚くしました! 新自然災害共済における第吉高定区分



3つの特約を新設。さらに 幅広い安心をご提供します!

個人賠償責任共済・類原模害保障特的・盗難保障特的



本言語は、関係を目的としない保障の生体として 表語事業を含み、配合目の様さまの安心と中とり ある事もしをがざしています。出資金をお文名いい ただいて各種連辞禁生物の組合為になれば、各種負 係をご利用いただけます。 金雪雑は、最利を目的としない保険の生協として

詳しくは全労済のホームページへ。 全労済





#### 徳島県労働者福祉協議会 発 行 公益社団法人

徳島市昭和町3丁目35-1 (わーくぴあ徳島 内) TEL (088) 625-8387 · FAX (088) 625-5113 URL http://www.tokushima-rofuku.net/ e-mail tokushima@rofuku.net

編集·発行人 川 越 敏 良 印刷者(有)フォトプリント白石